

しょう とく せい おう こみゆにけーしょん しゅだん 障がい特性に応じたコミュニケーション手段

し かくしょう 視覚障がい

しりよく いちじる ていか かた み はん い せま かた
視力が著しく低下した方や、見える範囲が狭い方
などがいます。また、特定の色が分かりにくい方も
います。

こみゆにけーしょん しゅだん れい コミュニケーション手段の例

● 点字

へいめん も あ てん
平面から盛り上がった6つの点に
より文字を表現するもの。

れい えれべーターのボタン
(例:エレベーターのボタン)



「あけ」 「しめ」

● 音訳

しよせき しかくじょうほう おんせい ろくおん じょうほう つた
書籍などの視覚情報を音声で録音し、情報を伝えるもの。

● 拡大文字

かくだい も じ
文書などの文字が大きく書かれたもの。

み かた おう じょうほうでんたつ しゅだん こと
見え方に応じて情報伝達の手段は異なり
ます。



ちゆうかくしょう ちゆうと しつちゆう なんちゆう 聴覚障がい(ろう・中途失聴・難聴)

き こえない き こえにくい しょうがいです。先天的に障がい
のある場合と、後天的に聴力を失う場合などがあり、
必要とする手段は生い立ちや環境によって異なります。

こみゆにけーしょん しゅだん れい コミュニケーション手段の例

● 手話

て ゆび からだ うご ひょうじょう しかくじょうほう
手や指、体の動き、表情などの視覚情報
により意思の疎通等が行われる言語。

「こんにちは」



● 筆談

そうご のーと などにもじ か いし そつ おこな
相互にノートなどに文字を書いて意思の疎通を行うもの。

● 要約筆記

ばそこん のーと ひつき ほうほう おんせいじょうほう ようやく
パソコンやノートに筆記するなどの方法で音声情報を要約
し、文字等で情報を伝えるもの。

おんせいじょうほう しかくじょうほう もじ いらすと
音声情報は視覚情報(文字やイラスト、
映像など)に変えて伝えてください。



ち てきしょう 知的障がい

はつたつ き ちてき きのう はつたつ しょう
発達期において知的な機能の発達に障がいがある
われ日常生活に支障が生じている状態をいいます。
「言葉を使う」「記憶する」「抽象的なことを考える」こと
に時間がかかることがあります。

こみゆにけーしょん しゅだん れい コミュニケーション手段の例

● るび振り

ぶんしょう かんじ
文章の漢字などにふりがなをつける。

● コミュニケーション支援ボード

えす かんい にほんご きさい
絵・図や簡易な日本語が記載されている
ボードで指さして意思を汲み取る
もの。



かんたん こと ばひょうじょう み かんけつ
簡単な言葉(表情を見せてゆっくり簡潔に)、
実物や絵、身振りなどを交えてください。



た しんたいしょう その他の身体障がい

はつせい かん きかん まひ ふずい うんどう じぶん いし
発声に関する器官の麻痺や不随意運動(自分の意思
とは関係なく現れる異常運動)などにより、コミュニ
ケーションを取ることが困難な場合があります。

こみゆにけーしょん しゅだん れい コミュニケーション手段の例

● 意思伝達装置

わずかな身体の動きを感知する
スイッチなどにより操作され、
操作者の意思等をディスプレイ
への文字の表示などによりあら
わすための機器。



しょう ていど こみゆにけーしょん
障がいの程度によりコミュニケーション
手段は大きく異なります。



ばんふれっと きさい いちれい ほか さまざま しょう しゅだん
※パンフレットに記載されているものは一例です。他にも様々な障がいや手段があります。

もう 盲ろう

し かく ちゆうかく りょうほう しょう
視覚と聴覚の両方に障がいがあることをいいます。
障がいの程度により、全盲ろう(全く見えず、聞こえない)、
全盲難聴(全く見えず、聞こえにくい)、弱視ろう(見え
にくく、聞こえない)、弱視難聴(見えにくく、聞こえにく
い)の方がおり、コミュニケーションの方法は様々です。

こみゆにけーしょん しゅだん れい コミュニケーション手段の例

● 指文字

もうろう者の指を点字タイプライターの
キーに見立てて、手を重ねて点字
を打って伝え合う方法。



● 触手話

もうろう者が、手話を表現する相手の手に触れて、互いに
手話で伝え合う方法。

● 弱視手話

読み取る人の視力や視野の障がいの状態に応じ、距離や
手を動かす幅などを調整して表現される手話。

み かた き かた しょう ていど
見え方・聞こえ方の障がいの程度などで
使用する手段は異なります。



こみゆにけーしょん さい はいりよ ひつよう コミュニケーションをする際に配慮が必要なこともあります

はつたつしょう 発達障がい

おも のう きのう しょうがいであり、生活上の困難さ
がありますが、優れた能力が発揮される場合も
あり、発達のアンバランスな様子が理解され
にくい障がいです。

- 言葉以外に実物や絵、身振りなどを交える。
- 落ち着いた環境を用意する。



しつ ごしょう 失語症

のう げん ごちゆうずう なん そんしょう う げんご
脳の言語中枢が何らかの損傷を受けることによって、言語
を操る能力に障がいが残った状態をいい、聞く・読むと
いった言葉に関する機能に困難が生じます。

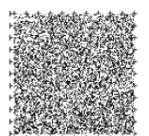
- 落ち着いた雰囲気ですぐに話します。
- 絵・図、表情、身振りを使ってコミュニケーションをとる。
- 相手の言葉を先回りしたり遮ったりせず、ゆっくり待つ。



せい しんしょう 精神障がい

とうごうしつちゆうしょう びょう さまざま せいしん しっかん にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ
統合失調症やうつ病など、様々な精神疾患により、日常生活や社会生活の
しづらさを抱えています。敏感さ、繊細さへの配慮が必要です。

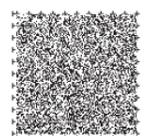
- 一度にたくさんのことを言われると混乱されることがあるので、ゆっくり丁寧に説明する。
- 穏やかな口調で、相手に考えてもらう余裕や安心感を与える対応を心掛ける。



おんせい こーど
音声コード
とは？

おんせい こーど もじじょうほう せしたるじょうほう へんかん こーど おも しかくしょう
音声コードは、文字情報をデジタル情報に変換したコードで、主に視覚障がいがある人
への情報提供を目的に作られました。専用の活字文書読み上げ装置や、スマートフォンの
専用アプリなどを使って読み取ることで音声に変換され、情報を聞くことができます。

おんせい こーど
《音声コード》



おんせい こーど
《音声コード》